資料１

# 気仙沼市立小中学校再編検討準備会について

## １　気仙沼市立小中学校再編検討準備会での協議の概要

少子化により，本市の小中学校は小規模化が進み，様々な課題を生じている。そこで，教育委員会は新しい学校再編検討の準備を開始することとした。その検討は，教育委員会の諮問機関として「再編検討委員会」を立ち上げて進めるが，その前に，現在の教育課題や前学校統合計画である義務教育環境整備計画を実施していく中で明らかになった課題等を整理するため「再編検討準備会」を設置することとした。

## ２　再編検討委員会に検討してほしいこと

**義務教育環境整備計画**での課題を挙げた上で，再編検討委員会で検討すべき事項を協議いただいた。

「義務教育環境整備計画遂行上の課題」

〇計画から実施までの長期化

・計画の策定において，検討委員会からの答申を基に行政が決めた計画を，対象地域ごとに保護者や地域住民に示すという基本的なプロセスで行われており，全体計画を広く保護者や市民に考えてもらう機会が不足していた。

・中規模校と小規模校の２校間の学校統合を主とする計画であるため，学校が残らない地区から不満が出る構造にあった上に，統合される側の地区中心の懇談会実施が，その意識を強めた。

〇計画実施上の課題

・地区懇談会では，学校が残らない地区の不満から，統合に反対の意見が多く出され続け，賛成意見を述べる雰囲気が薄らいでいった。児童生徒や教育に対する学校統合のメリット・デメリットの共通認識が不足する中で，地区ごとの課題を巡る議論に終始してしまった。

〇学校将来像の共有不足

・学校の将来像について，これからの市内の小中学校をどのような学校にしたいのかといった学校の将来像についての議論を十分に行うことができず，個別の学校統合の話に終始した。

〇保護者からの意見聴取不足

・整備計画の説明に長時間を要したために，未就学児を含む保護者世代の意見聴取が不足した。

〇合意形成の在り方

・計画策定段階で，市民の関心や理解，全体としての合意形成が不十分であり，個別の統合議論がゼロからのスタートとなり，時間を要する原因となった。

### （１）気仙沼市小中学校再編検討委員会スケジュールについて

〇　準備会で作成したスケジュール案（資料４）だと時間的にタイトになる。人口減少のスピードや校舎の耐用年数，教員の配置状況など専門的なところが絡んでくるので，どうしても時間がかかる。それらを委員が理解した上で若者や保護者と話し合うのはどうか。若者等と意見を交換するにしても準備に時間がかかる。

〇　中間報告までが大切になる。前計画で統合に難色を示した地域から前向きな視点をもった意見をもらったり，統合した学校にも理想の学校像を聞いたりしたほうが良いのではないか。

### （２）魅力ある学校づくり，特認校について

〇　気仙沼市は，全国に先駆けて ESD に先進的に取り組んでいる。ESD を発展させながら魅力ある学校づくりをしてほしい。

〇　子供たちが思う魅力ある学校や，どのくらいの人数でどんな学習をしたいのか等を子供たちから聞いてほしい。それが先生の授業づくりや質の高い授業につながる。子供たちとのワークショップの内容を吟味するべき。

〇　学校が嫌いな子や学校に行きたくない子，いじめられた経験のある子の意見なども大切なのではないか。学校というものに保護者が興味をもてば，学力も上がるのではないか。

〇　魅力ある学校づくりとして，どんな学校が可能なのかアップデートしないと今までどおりの学

校のイメージでは立ちいかなくなっている。ギガスクール構想や無学年制，学びの多様化学校等，私たちの知識をアップデートしていかなければならない。

**（３）地域とのつながりについて**

○　再編によってＰＴＡの活動・機能がどうなっていくのかという点も議論として出てくる。

**（４）小中学校の再編の考え方，小中学校の数，区割りについて**

○　人数で必要な規模を確保するとなると，今の学校数が減ることは容易に想像できる。

**（５）再編時期について**

○　何年分を考えるのか。何年後までを見通したものを検討するのかを共有しないと議論が進まない。

○　10 年後のその先も視野に入れ，10 年，20 年先の校舎の在り方を考えた議論は必要。

**（６）市民理解の促進について**

○　会議については，基本は公開として毎回委員に諮るべきではないか。公開が委員のプレッシャーとなるならば地域から紙で意見をいただく形もある。基本的には公開にして，会議途中で非公開になる場合もある。

○　ホームページだけでは公表として弱い。適正規模がどうやって決められているのかなどを，いつでも市民が知ることができるようにしたい。

○　児童相談所や適応障害のサポートをしている先生や関係者，ＮＰＯ関係等に意見を聞くということはできないか。

○　子供に直接聞くより，関係機関に意見を聞くことも大切。

○　若い保護者が，実際には学校再編の対象になる。年配の世代などは新聞や広報などを読んでいるため情報を得ているが，今の若い世代は読まない。実情をイメージ図で出してはどうか。一番見るのは，子供が持って帰ってくる紙のたより。また，学校メール配信も見る。

○　子供でも理解できるような資料作りを心掛けてほしい。それが地域の人の理解にも有効。いろいろなものが具体的になったときに，イメージできて理解してもらえる資料がほしい。

○　事務局任せから脱却していく必要がある。委員が役割を分担してもいい。

**（７）その他の観点**

○　特別支援教育の充実について，検討委員会でも話し合ってほしい。

○　学校の役割として防災の視点を念頭に入れて検討してほしい。

**【気仙沼市立小中学校再編検討準備会委員】**　　敬称略

| №. | 選出区分 | 氏　名 | 主　な　役　職 |
|---|---|---|---|
| 1 | 学識経験者 | 本　図　愛　実 | 国立大学法人宮城教育大学　教職大学院　教授<br>元県立高校将来構想審議会　会長 |
| 2 | | 田　端　健　人 | 国立大学法人宮城教育大学　教職大学院　教授<br>県立高等学校入学者選抜審議会　委員長 |
| 3 | | 今　野　享　子 | 元気仙沼中学校長<br>元中央教育審議会　委員 |
| 4 | 市民 | 春　日　敏　春 | 気仙沼市体育協会会長 |
| 5 | | 畠　山　拓　男 | 唐桑地域自治会連絡協議会　会長<br>舞根自治会　会長 |
| 6 | | 小野寺　克　浩 | 本吉夢プロジェクト委員会 |
| 7 | 保護者 | 芳　賀　周　太 | 市立小学校保護者代表<br>津谷小学校ＰＴＡ会長 |
| 8 | | 石　原　祥　子 | 市立中学校保護者代表<br>新月中学校ＰＴＡ会長 |
| 9 | | 廣　野　香　苗 | 就学前保護者代表<br>会社員（アサヤ株式会社） |
| 10 | 学校関係者 | 尾　形　浩　明 | 条南中学校長<br>市立学校長会　会長 |
| 11 | | 小野寺　貴　子 | 気仙沼小学校長<br>前宮城県総合教育センター　副所長 |